

RI 第2820地区

水海道ロータリークラブ



2019-2020 年度 RI 会長 マーク・マローニー

例会予定 12月11日 外部卓話 トレーニング同好会 Guts 会長 北嶋茂男様
12月18日 国際奉仕委員会セミナー報告／会長・幹事前期を振り返って

VOL.57 No. 21 (通算No. 2618)

2019年12月 4日(水) 例会プログラム
点 鐘
君が代・ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
SAA報告
諸報告
幹事報告
会長挨拶
外部卓話 常総警察署長 村上貴志様
年次総会



2019-2020年度 会長 瀬戸 隆海 幹事 五木田利明

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3階
毎週 水曜日 12:30～13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3階
Tel 0297-30-0875 Fax 0297-30-0876
Email mitsu-rc@lapis.plala.or.jp
URL <http://www.mitsukaido~rc.jp/>

12月は疾病予防と治療月間

例会報告 VOL.57 No. 20 (No.2617) 11月27日(水) 曇り (司会 石塚克己委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎ロータリー情報委員会卓話 鈴木邦彦会員

諸 報 告

親睦活動委員会 大堀和久委員長

12月7日(土)家族親睦忘年会です。

職業奉仕・プログラム委員会 石塚克己プログラム委員長

12月19日(木)共同企画の職場訪問30名近くの参加を頂いております。

バスの方は11時白井石油さん前より、自家用車の方は11時40分までに取手競輪場へお越し下さい。

幹 事 報 告 五木田利明幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会 長 挨 拶 瀬戸隆海会長



今月も、あと数日になってしまいました。来週からは師走になります。何かと忙しい日がやってきます。お酒の飲みすぎや、寒さなどで体調を壊さないようにご自愛ください。

ローマ教皇の来日で、24日から3日間は厳戒態勢でした。24日の午後から佐世保に行ってきましたが、飛行機が長崎空港に着いたときはローマ教皇が長崎から広島に経った後で、警備の警察官が撤収している最中でした。九州各県どころか、大阪府警ナンバーの警察車両も沢山ありました。

さて、このところお休みが続いておりました鈴木邦彦会員が、久しぶりに例会にご出席いただき、ロータリー情報の卓話をいただくことになっております。宜しくお願い申し上げます。

さて、今月はロータリー財団月間という事はご承知ですが、現在のグローバル補助金システムになる前は、補助金の使途目的について差ほど縛りはありませんでした。もちろん芸術に関する事案についても、補助金がありました。ですから、下館出身の中丸三千繪が当地区からの財団奨学生という事で留学していたこともありました。しかし、今から7年程前に財団の制度が変わり、グローバル補助金の使途目的というものが『ロータリーの6つの重点分野』という事が定められ、その目的達成に関わる事業や奨学生に対してだけ、補助金申請ができなくなりました。さらに、事業規模についても3万ドル以上という大きな事業という事になり、それ以下については地区補助金で行うようになつたわけであります。

しかしながら、ある意味においてはロータリーとしての活動指針というものが、明確になったことも確かです。この申請方法についてはかなりハードルが高く、さらには資金管理についても、財団本部からの要求が厳しいものであります。2820地区においては、他地区と比べて財団の資金活用についてはとても順調で、奨学生も年に何人か派遣しており、その奨学生もかなりのハイレベルで活躍されています。当クラブからの推薦で奨学生となられた園田氏は、FAO(国際連合食料農業機関)という組織に入り、国連システムの農業に関わる一員として来年一月からアフリカザンビアで活動される予定です。

補助金の使われ方については、添付資料にてお分かりかと思いますが、人としていかに安全で平安のあ

12月は疾病予防と治療月間

る世界を作ることができるために使われていることは、一目瞭然であります。

是非とも、財団月間が終わって寄付の集金が終わりだという事でなく、マイロータリーから財団の寄付もできますので、ご理解ご協力を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。



ロータリーの 6つの重点分野

GGを申請する際には、この6つの重点分野に該当するプロジェクトでなければなりません。
また、次属性や計測可能なプロジェクトでなければなりません。



平和と紛争予防/紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生



母子の保健



基本的教育と識字率向上

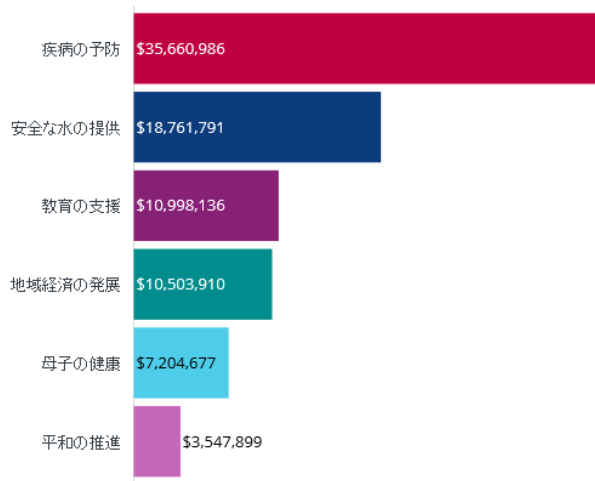


経済と地域社会の発展



ロータリー財団の補助金

2018会計年度、ロータリー財団は1,306口、合計86,677,399ドルの補助金を授与しました。以下は分野の内訳です。



Share



12月は疾病予防と治療月間

会 員 卓 話 「私のロータリー歴を顧みて」 鈴木邦彦会員



本日は、43年間のロータリー活動については、度々、色々な機会にお話ししたことがありますので、違った観点からお話したいと思います。

私のロータリー理解の貧しい思考過程の一端をお話し致します。

私の43年間のロータリー歴とは、ロータリーの精神である“奉仕の理想”が私の生き方に方向付けや基礎づけを与えた考え方によって、編み出したものと云えるだろうと思います。

「そのうち、だんだん分かるよ。」の言葉で、私のロータリーが始まったと云っ

ても良いと思っています。

私たち人間は、生きている限り、考えながら生きています。どうして生活していくかを考えるばかりではありません。どうしてもっと生き甲斐ある生き方が出来るだろうか、と絶えず考えて生きています。私たちの生き方から或る考え方が生まれ、その考え方を導いたり規制したりするようになります。

ロータリーは、例会に出席する生活、即ち生き方から生まれたものと分かるようになりました。

ロータリーは実践哲学であります。はじめに実践があり、あとから理論づけられたと云う言葉に出会い、先輩の「だんだん分かるよ」の言葉が、ロータリーを理解する重要な過程を示した言葉と納得しました。

また、ロータリーは人生の道場だと云われる所以も分かりました。

私のロータリーとの出会いは、昭和51年5月19日、旧常陽銀行の二階の会議室でした。会場は、水海道地方の有力者で、各分野の責任ある立場の方々で一杯でした。例会の席上、私は社会人になったのだと、つくづく考えました。

週1回の例会は、会員の出席率がほぼ100%でした。例会の会員の出席率を各クラブが競い合っていました。欠席者は、他のクラブに出席し、メイクアップをするようにと勧められ、時には、会長が欠席者をまとめてメイクアップに他のクラブへ行くこともありました。従って、例会欠席はクラブに迷惑をかけることになると、出席に努め、週1回の例会出席が生活の一頁に加えられるようになりました。

ロータリーの細則では、6カ月毎を1期間として、その60%だけ出席すれば良いと云う条件になっていましたが、実際は100%出席が望ましい水準だということが習慣となっていました。

その理由は、各会員は所属する仕事や職業の分野を代表している方々なので、どの会員が欠席しても、クラブ会員の多様性と各個人的な仲間意識という価値が奪われる結果となると説明されていました。

云ってみれば、例会は第一に自分の限られた職業生活の中では得られない、多くの違った業種の優れた指導者達と知り合いとなる事、そして、そこでインスピレーションを受けて自分自身が成長することができます。第二は、自分が逆の立場となり、例会に出席することによって、他の会員に自分自身を与えなければなりません。

そこにお互いの親密さが生まれ、親睦が生まれるのです。

親睦は、お互いを認めることから始まり、お互いの立場に立つことによって生まれると思うようになりました。

さて、ロータリーは、“親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団”と云われています。

ロータリーの標語に「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「超我の奉仕」の二つがあります。

奉仕という言葉は、戦争中、中学生だった私にとっては、勤労奉仕を思い出させます。

奉仕とは、社会の上下関係の中で主君に仕えること。社会や他人の為に尽くすことです。その為には、己を無にすることが必要であると考えていました。

それで、ロータリーの奉仕をどのように理解しようかと迷いました。

しかし、考えてみるとロータリーの奉仕は、例会の親睦から生まれた概念で、相手の立場に立ってものを考えることから始まったものだ、と再認識することによって、ロータリーの奉仕を理解することが出来ました。

職業奉仕の理念を理解することによって、一層明確になりました。

12月は疾病予防と治療月間

この奉仕の理想は、単に職業の成功ばかりではなく、より良い社会を作るのに大切な信条となり、社会奉仕に展開していき、国際奉仕に至りました。

I SERVEからWE SERVEに変わり、最近ロータリーは変わってきたのではないかと考えています。個人奉仕から集団奉仕が協調され、ロータリーは人生の道場との考えが薄れ、単なる金集めクラブになることを恐れています。ロータリーの基本理念を堅持することを望みます。

ロータリーは親睦から、職業奉仕が生まれ、社会奉仕に成長し、広がって国際奉仕となります。これを貫く「奉仕の理想」は、私の人生を豊かにしてくれました。

出席報告 青木英男委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
57名	37名	18名	2名	0名	67. 27%

ニコニコボックス 齋藤政博委員長

入金額 29,000 円 累計 892,000 円

鈴木先生卓話楽しみにしています。 瀬戸・熊谷 各会員

鈴木先生お気を付けて下さい。 五木田(利)会員

鈴木邦彦先生本日卓話よろしくお願いいたします。昨日の商工会コンペお世話になりました。

石塚(克)会員

鈴木会員、本日どうぞご指導のほど宜しくお願い致します。 石井会員

鈴木邦彦先生今日はお勉強させていただきます。 北村(英)会員

鈴木先生宜しくお願い致します。 五木田(裕)会員

鈴木先生、本日は宜しくお願いします。 鯉沼会員

常陽白梅会、多数のご参加ありがとうございました。 桑名会員

商工会ゴルフコンペ賞を頂きました。 齋藤(広)会員

昨日の商工会ゴルフコンペで3位になりました。青木商工会長ありがとうございました。 武藤会員

今年8月に家内の母が亡くなりました。年始のご挨拶を御遠慮申し上げます。 白井会員

しばらく休みが続きました。 鈴木(邦)会員

欠席続きました。 染谷(秀)会員

欠席すみませんでした。 淀名和会員

会報委員会 福田克比古委員長 染谷正美副委員長 板垣吉郎委員

国内ロータリーを写真で振り返る

1935 年 ポール・ハリスが来日し記念植樹



ロータリーの創始者ポール・ハリスは、当時の国際ロータリー会長のボブ・ヒル夫妻とともに来日。マニラで開催される第5回太平洋地域大会に向かう途中に立ち寄ったものです。その折、ポール・ハリスは、東京の帝国ホテルの庭に月桂樹を記念植樹しました。この木はその後、枯死寸前になっていましたが、挿し木が試みられ、幸いにも発根した数本の木がポール・ハリスの月桂樹2世、3世として、日本の各地で元気よく育っています。